

社会福学科 社会福祉専攻 1年 前期 総合科目

1. 人間関係論
2. 福祉の人間学
3. 地域つくりかえ学
4. 基礎英語
5. 情報処理 I

社会福祉学科

社会福祉 専攻

科目名: 人間関係論			担当教員 氏名: 尾山 敦子		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次 前期	総合科目	講義	選択	交流分析士2級受験資格
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 県内の各病院や医療法人で接遇研修を行っている実務経験を活かし、心理学視点からの接遇を体験学習する。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
・人間関係論は、人間性心理学(交流分析)を中心に学習し、講座を通じて「自他を受け入れ認められる人」「人と親密に係ることができる人」を目指す。 ・自己のパーソナリティの認識と改善、他者への気づきと円満な対応、状況と相手に相応しいやりとり選択、効果的なストローク(ふれ合い)交換、自己の感情や行動の傾向に気づいて改善する。 ・交流分析スローガン「人は誰でもOKである。過去と他人は変えられない。変えられるのは未来と私。自分が変われば相手が変わる。」					・人間性心理学 ・交流分析(TA) ・エゴグラム ・パーソナリティ理論 ・コミュニケーション法 ・やりとり・傾聴・ストローク
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力	・自己のパーソナリティ認識と成長法				
E 自己管理能力	・人生の構えのゆらぎと改善、・人生脚本の書き換え等				
F チームワーク・リーダーシップ	・自他のパーソナリティを認識した関わり方・やりとりパターンの改善(傾聴法、アサーションを含む)・ストローク授受の改善				
G 倫理観	・自他受容(人は誰でもOKである。人は誰でも考える力を持っている)				
H コミュニケーション力	・エゴグラム分析、・やりとりパターンの改善、・ストローク授受の改善				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%
				実技試験:	%
				その他:	%
特記事項: アクティブラーニングの一環としてグループワーク、発表を行う。					
アクティブラーニング要素:					
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 随時実施する。補習・試験日に期末テストを実施する。(テスト・レベルは上述の到達目標による)					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テスト並びに提出課題については次回にフィードバックをし、確実な講義内容の修得と、支援活動における実践力養成につなげる。なお希望者には随時個別面談を行う。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【尾山】人間関係論とは何か 人間関係論の必要性と目的 自己紹介(グループワーク)			オリエンテーション 画像と他画像		
②【尾山】自我状態とは何か 自我状態の構造分析(シートP1)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
③【尾山】「今、ここ」でのパーソナリティ(自我状態の機能分析その1)(シートP2)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
④【尾山】「今、ここ」でのパーソナリティ(自我状態の機能分析その2 エゴグラム心理分析)(シートP3・4)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑤【尾山】「今、ここ」でのパーソナリティ(自我状態の機能、肯定的側面と否定的側面)(シートP5・6)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑥【尾山】自我状態の改善による自他への肯定的人間関係の構築(エゴグラム活用ガイド問題記入提出)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑦【尾山】人間関係論の概要と自我状態のまとめ やりとり分析その1 やりとり分析とは			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑧【尾山】やりとり分析その2 刺激と反応によるやりとりの三つのパターン・相補交流(シートP7・8・9)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑨【尾山】やりとり分析その3 刺激と反応によるやりとりの三つのパターン・差交流・裏面交流(シートP10・11・12)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑩【尾山】やりとり分析その4 快い交流を図るには(シートP13)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑪【尾山】ストロークとは何か その重要性和効果・ストロークの種類(シートP14)(エゴグラム活用ガイドフィードバック)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑫【尾山】ストローク飢餓とは(シートP15・16・17)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑬【尾山】ストロッキング・プロフィールによる心理分析(シートP18～22)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑭【尾山】快いストローク交換を心がけよう(シートP23) ディスカウントとは(シートP24)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑮【尾山】ディスカウントの領域(シートP25) 全体講義内容のまとめと自己改善の行動目標設定			【予習】テキストの該当箇所を読む	【予習】20分	
使用テキスト: 「交流分析士2級テキスト」「交流分析士2級TAシート」(NPO法人日本交流分析協会発行)、エゴグラム活用ガイド ※随時プリントを配布します。			その他参考文献など: TA TODAY 最新・交流分析入門 I・スチュアート 著 V・ジョインズ 著(実務教育出版)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 「自分を受け入れ、人をも受け入れることができる人」「自他のパーソナリティを認識し、それにふさわしい対応ができる人」を目指す。人にとって人間性豊かな係わりは、何物にも代え難く有り難い励みである。人間関係論は、今後の人生を通じて、色々な場面で、いつも役に立つ。人間関係論(交流分析)は心理カウンセラーへの導入路でもある。 「人間関係論」と後期の「コミュニケーション論」の両方を受講した人には、2月頃実施のNPO法人日本交流分析協会「2級交流分析士」(登録商標)の受験資格が与えられる。					

社会福祉学科			社会福祉 専攻						
科目名: 福祉の人間学			担当教員 氏名: 宮嶋 潔、社会福祉学科教員						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	1年次	前期	総合科目	講義	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 各教員の自分に影響を与えた人物や学生に知ってほしい人物について実務経験をもとに授業する。									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
「人間性に対する深い洞察を養い、福祉の意味をたずね、それによって人間への愛情と社会を見る目が育てられる。」(阿部志郎) これがこの授業の目的です。互いに支え合い共感し合う人間理解を深めたいものです。自己を見つめ、人間を理解し、各自がそれぞれの「人間観」を確立するのを援助する。					・人間理解 ・人権(擁護) ・倫理綱領 ・「福祉は人なり」				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 4. 5. 6. 10				
A 知識・理解力			人間性の理解を深める。福祉と人権獲得に貢献した先輩の努力を知る。						
G 倫理観			福祉専門職の倫理綱領を理解し、確信を持って人権を擁護するために倫理的に行動できる。						
H コミュニケーション力			感じたことや考察したことを自分の言葉で分かりやすく表現・記述できる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	90 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	10 %
特記事項:									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 毎回、意見、感想を書いてもらいます。レポート試験を実施します。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 評価をつけて返却します。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
①オリエンテーション(全担当教員)			【全員】4/13	以下の福祉分野で活躍した人をまとめる		60			
②社会変革を目指したジェーン・アダムス			【松尾】4/20	ジェーン・アダムス		60			
③「自由に結婚できるようになった背景を学ぶ」 ベアテ・ゴードン			【松尾】4/27	ベアテ・ゴードン		60			
④「人間の成長力を信じぬく」 カール・ロジャース			【竹ノ山】5/11	カール・ロジャース		60			
⑤「アイデンティティとライフサイクル」 E. H. エリクソン			【竹ノ山】5/18	E. H. エリクソン		60			
⑥「死の受容過程」キューブラ・ロス			【中村】5/25	キューブラ・ロス		60			
⑦「問題解決のアプローチ」ヘレン・ハリス・パールマン			【中村】6/1	ヘレン・ハリス・パールマン		60			
⑧第1回に説明します			【新任】6/8			60			
⑨「ケアの本質」ミルトン・メイヤロフの言葉から考える			【毛利】6/15	ミルトン・メイヤロフ		60			
⑩認知症利用者の可能性を広げる「ケアン」			【毛利】6/22	授業内容をまとめる		60			
⑪「人間の基本的欲求(ニード)に根ざした基本」真のニードを理解する			【境】6/29	ヴァージニア・ヘンダーソン		60			
⑫「ヒューマン・ケアリング」対象者を全人的に理解する			【境】7/6	ジーン・ワトソン		60			
⑬「5つの顔をもつ」ナイチンゲール			【宮城】7/13	ナイチンゲール		60			
⑭「福祉の心」マザーテレサ			【宮城】7/20	マザーテレサ		60			
⑮「ノーマライゼーションの父」バンク・ミケルセン			【宮嶋】7/27	バンク・ミケルセン		60			
使用テキスト: テキストはありません。必要な資料は、授業時に配布します。					その他参考文献など: 授業中に随時紹介します。				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 「福祉は人なり」との言葉の意味を噛みしめてください。福祉に「命」を吹き込むのはあなたです。共感と思いやりをもって、人を理解し援助できるようになることを期待します。									

社会福祉学科

社会福祉 専攻

科目名: 地域つくりかえ学			担当教員 氏名: 松本 三千人、中村 尚紀 他		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次 前期	総合科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。					教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、『私』宣言、地域社会に生きる「私」、実践躬行
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 7. 8. 10.	
D 問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。				
E 自己管理能力	地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。				
G 倫理観	自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。				
F チームワーク・リーダーシップ	【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる。				
C 論理的思考力	【生涯学習力】自ら設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: 33 %	発表: %	実技試験: %	その他: 67 %	
特記事項: 「つくりかえレポート」と年間の「週フォリオ」を含めた様々な問題への取り組み状況によって評価する。各AD教員が、AD学生の評価にあたる。「つくりかえレポート」100点満点+「週フォリオ」100点満点評価+「自分づくりをすすめる意欲・態度」100点満点評価の合計を3で割った平均を評価点とする。 本科目は、アクティブラーニングの一環として、前期中にボランティア活動を各学生1回以上行い、後期の「富山コミュニティ論」にて活動発表を行う。 また闘病記文庫感想文コンクールへの参加や演劇を通して、支援を必要とする方への共感性やコミュニケーション能力を養う。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベーター グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 「つくりかえレポート」は第7回に課す。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜AD面談等を行い、返却する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【学科】建学の精神、5S活動、きとぎとコミュニティ・サポーターとしての社会貢献			4月13日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
②【炭谷元学長】教育目標「つくり、つくりかえつくる」と週フォリオ			4月20日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
③【中村】ボランティア活動で自分発見			4月27日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
④【特別講義】地域福祉について学ぶ			5月11日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑤【特別講義】認知症サポーター養成研修			5月18日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑥【特別講義】子育て支援について学ぶ			5月25日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑦【特別講義】在宅ケアにおける地域課題			6月1日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑧【学科】卒業生の「つくり、つくりかえ、つくる」に学ぶ 各学科・専攻にて実施 - 日程・詳細は後日掲示 -			6月8日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑨【学科】アカデミック・スキルズ 大学での学び方 各学科・専攻にて実施 - 日程・詳細は後日掲示 -			6月15日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑩【特別講義】演劇を活用したコミュニケーション能力の向上①			7/7(水) AM	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑪【特別講義】演劇を活用したコミュニケーション能力の向上②				【復習】学習振り返り、レポート	60分
使用テキスト: 『アカデミック・スキルズ(第3版)——大学生のための知的技法入門』慶應義塾大学出版会ISBN-13: 978-4766426564			その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 本学で大切にしている学びの基礎とあり方を追求する。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指そう。					

社会福祉学科

社会福祉 専攻

科目名: 基礎英語				担当教員 氏名: Richard Curtis		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのよ As a native speaker with over 3 decades of teaching experience, the teacher will lead the students to うな授業を行っているか: speak natural English.						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
For students to be able to hold a simple conversation, and to expand their vocabulary.					Basic English communication	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 7. 8. 10	
A 知識・理解力			Making the best use of what you have learned before plus trying to learn something new will lead to better command of the language.			
F チームワーク・リーダーシップ			Trying your best in playing your role is important in group activities.			
H コミュニケーション力			Positive attitude without being afraid of making mistakes is a MUST in building basic command of English.			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 30 %		レポート: %		発表: 30 %		実技試験: %
その他: 40 %						
特記事項: Classroom participation and attitude is vital to success in this course.						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: Group activities with presentations will be assigned. Schedule for working through the curriculum is shown below. Progress through the curriculum may be faster or slower than planned depending on class ability.						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: Individual discussions with students following graded presentations.						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
① Getting to know each other.				Preview pgs. 5 - 10	30分	
② Dates and ordinal numbers; Exchanging information.				Preview pgs. 11 - 16	30分	
③ Likes and Dislikes; Counters and Singular/Plural				Preview pgs. 17 - 19	30分	
④ WH-Questions				Preview pgs. 20 - 22	30分	
⑤ Can and Can't - Assign First Presentation				Prepare for Oral Presentation 1	30分	
⑥ Oral Presentation and Evaluation 1				Preview pgs. 24 - 26	30分	
⑦ Simple Present and Describing Things				Preview pgs. 27 - 33	30分	
⑧ Family; Simple Past: Questions and Stories				Preview pgs. 34 - 40	30分	
⑨ Jobs; Making comparisons				Preview pgs. 41 - 46	30分	
⑩ Numbers; Present and Past Progressive				Preview pgs. 47 - 53	30分	
⑪ Present Perfect; Countries, Nationalities and Languages				Preview pgs. 54 - 56	30分	
⑫ Future: Going to; Assign Second Presentation				Prepare for Oral Presentation 2	30分	
⑬ Oral Presentation and Evaluation 2				Prepare for Talkopoly; pg. 58	30分	
⑭ Talkopoly; Review				Review for test	30分	
⑮ Final Review				Review all material	30分	
使用テキスト: Talk a Lot -Starter Book- EFL Press ISBN:4580244425068				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): Everyone should expect to talk as much as they can. Hopefully we'll have fun, and your English will improve.						

社会福祉学科

社会福祉 専攻

1年

科目名: 情報処理 I			担当教員 氏名: 伊達 伸之輔			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
近年の医療・福祉の現場において、電子カルテ等をはじめとして急速に情報化が進み、情報化スキルの必要性が高まっている。この科目では、コンピュータやネットワークの基本知識を学習し、各種ソフトウェアの基本的な活用能力を演習をとおして修得する。					コンピュータ、ネットワーク、ソフトウェア、ワード、パワーポイント、エクセル	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 8.	
A 知識・理解力			・コンピュータ、ネットワークの基礎知識、情報リテラシーを理解する。 ・Windows10の基礎知識を学習する。			
D 問題解決力			・文書作成ソフト「Microsoft Word」、プレゼンテーションソフト「Microsoft Power Point」、表作成ソフト「Excel」の基本操作を修得する。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験: 50 % その他: 50 %
特記事項: ・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。 ・授業外の予習・復習が不可欠であり、反転授業(アクティブ・ラーニング)として、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中後半に毎回課題演習を行う。また授業期間の中間と最後に実技試験を行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。また複数回実施する実技試験については採点結果を伝える。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
① コンピュータとネットワークの基礎知識の理解				インターネットについて調べる	【予習】30分 【復習】30分	
② 情報システムの基礎知識の理解				情報のセキュリティについて調べる	【予習】30分 【復習】30分	
③ Windows10の基礎知識と基本操作の理解				Windowsについて調べる	【予習】30分 【復習】30分	
④ Wordによる文書作成(基本的な文字入力)				Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑤ Wordによる文書作成(案内状などの作成)				Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑥ Wordによる文書作成(表作成)				Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑦ Wordによる文書作成技術を再確認する。				Word(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑧ Excelによる表作成				Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑨ Excelによるグラフ作成				Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑩ Excelによる数式・関数の活用				Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑪ Excelの基本操作を再確認する。				Excel(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑫ PowerPointによる資料作成(簡書き機能など)				PowerPoint(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑬ PowerPointによる資料作成(図の作成)				PowerPoint(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑭ PowerPointによる資料作成(プレゼン資料の作成)				PowerPoint(電子コンテンツ)を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑮ Word、PowerPoint、Excelの基本操作を再確認する。				Word、PowerPoint、Excelの予復習をする	【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト: 電子コンテンツの「できるWord2013」、「できるPowerPoint2013」、「できるExcel2016」(インプレスジャパン)				その他参考文献など: 情報リテラシー(noa出版) Officeソフトで作る文書ドリル全55題(noa出版)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業での演習時間が少ないので必ず予習・復習を行うこと。						